

# ボランティア等を活用した事例

【SONTAR GARDEN（喜界町）】

（令和7年3月）

## 経営の概要

### 【経営内容】

- 経営品目・面積  
パッションフルーツ27a, メロン27a  
たんかん100a, 花良治ミカン40a等
- 農産物加工  
エッセンシャルオイル  
パッションフルーツシロップ等

### 【経営の変遷】

- 令和2年にハウス, 加工施設整備
- 令和4年に就農（現経営主）
- 同年, エッセンシャルオイル販売開始



## 労働力の現状

- 家族労働力 2人
- 雇用労働力
  - 常時雇用 2人
  - ボランティア（NPO法人ECOFFの村おこしボランティア）
    - ※ 村おこしボランティアは、第2のふるさつが見つかる離島・農山漁村住み込み型のボランティア
    - ・喜界町に約10日間の日程で滞在し、ボランティアとして、農作業等を体験（トロピカルフルーツの収穫、ゴマの収穫、サトウキビの植付や収穫、牛の餌やりなど）
    - ・ボランティアは大学生などの若い人が中心のため、大学生の春休み（2～3月）、夏休み（8～9月）頃に募集
- 加工業者との連携
  - ・島内でみかんを活用した加工に取り組んでいる仲間と連携して、みかんを共同で収穫、搾汁を行っている。

## 特徴的な取組等

- ボランティア関係
  - ・経営主は、喜界島で村おこしボランティアを受け入れる際の世話人（現地における責任者）として、宿泊場所やスケジュール（農作業等）を手配
  - ・宿泊場所として空き家を活用し、無償で提供（インターネット環境を完備）
  - ・参加者は、自炊など共同生活をしながらボランティアに従事
  - ・喜界島での農業体験や生活体験が参加者の思い出の1ページになり、自然や文化を満喫できるようにと、さまざまなプランを工夫
  - ・これまで、コロナ禍を除く直近6年間で約160名以上が参加。参加者が、複数回喜界島を訪れるきっかけにもなっている。
- 労働全般
  - ・雇用にあたっては、子供の学校行事や体調に合わせて、働く時間を自分達で調整してもらうなど、働きやすいように配慮している。